

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年7月24日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7477 URL http://www.muraki.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 上中 良典 TEL 042-357-5610  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,104	△7.5	17	△65.6	29	△54.1	13	△75.9
26年3月期第1四半期	2,275	△2.1	51	147.9	65	77.5	56	133.2

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 15百万円 (△70.2%) 26年3月期第1四半期 53百万円 (215.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	0.96	—
26年3月期第1四半期	3.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	4,376	2,283	52.2	160.80
26年3月期	4,517	2,281	50.5	160.69

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,283百万円 26年3月期 2,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	1.00	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,556	3.9	38	△9.8	53	△26.2	33	△23.4	2.27
通期	9,143	3.5	93	46.1	125	2.5	85	△12.4	5.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	14,700,000株	26年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	500,924株	26年3月期	500,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	14,199,076株	26年3月期1Q	14,699,076株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国での景況感やユーロ圏での実質GDPの成長に加え、前年度から続く政府・日銀による各種の経済・金融政策に支えられ、設備投資の持ち直し、企業収益の改善等、緩やかな景気回復の裾野が広がり始めております。反面、消費税率の引上げに伴う景気反動懸念もあり、先行きに関しては総じて予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界においては、天井知らずのガソリン価格の影響と、年度末の特需に対する反作用から、洗車をはじめとする油外商品の需要が伸びず、加えて人材確保難の波がSSにも及び本格的な市場環境の景気回復ははまだ道半ばといえます。

このような状況のもと、当社におきましては新社長のもと、「基本営業×価値の訴求」を掲げ、引き続き好調なバッテリーを中心とした機能部品及びエアコン関連品の強化販売を催行したものの、前年度末の駆け込み需要に対する反動需要減少から苦戦を強いられました。

現下のこの業況克服に対し、顧客のニーズを箱詰めした2014ムラキプロジェクトの第1弾「M-WING」が始動しました。この「M-WING」を通して同業他社との差別化戦略をプロモートする狙いから、従来のチラシやカタログによる大型看板の販売手法を根本から覆す独創性のあるPOP広告事業を展開してまいります。具体的にはLED看板ギガサイズを2基を搭載し、その場で現物を見て、触って、イメージできて、映像まで見れるという大型LED看板の自走式ブースであります。北海道の業務提携先でもある株式会社ミツワ商会とのコラボレーションを皮切りに、7月より3ヶ月間にわたる日本列島縦断キャラバンがスタートします。基本コンセプトは全国1,000人のキャスティングポートとのコンタクトが企図であり、既に道中での500人以上の予約を確保しています。従いまして当事業は今後の業績向上のファクターとして期待することができます。

詳しくは当社ホームページ <http://www.muraki.co.jp/hp/> をご覧ください。

また、海外市場を見据えた動きも活発化しており、東南アジアを中心に機能部品や洗車関連品の供給も始めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 2,104百万円（前年同期比 7.5%減）となりました。

収益面におきましては、営業利益 17百万円（前年同期比 65.6%減）経常利益 29百万円（前年同期比 54.1%減）、法人税等 16百万円を計上し、四半期純利益 13百万円（前年同期比 75.9%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業については、上記の要因から、売上高は 2,083百万円（前年同期比 6.7%減）セグメント利益は 17百万円（前年同期比 67.9%減）となりました。「その他」の事業につきましては売上高は 51百万円（前年同期比 14.4%減）となりセグメント損失は2百万円（前年同期のセグメント損失4百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は 3,227百万円となり、前連結会計年度末に比べ 148百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が 22百万円、商品及び製品が 99百万円減少したこと等によるものです。固定資産は 1,148百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が 12百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は 4,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ 140百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は 1,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ 43百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 99百万円減少したことと、1年内返済予定の長期借入金が6百万円増加したこと等によるものです。固定負債は 740百万円となり、前連結会計年度末に比べ 99百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少 72百万円と社債が 24百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 2,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ 142百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,283百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金によるものです。

この結果、自己資本比率は 52.2%（前連結会計年度末は 50.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月8日付「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,526,587	1,527,587
受取手形及び売掛金	1,078,455	1,055,816
商品及び製品	628,372	529,154
繰延税金資産	21,516	15,349
その他	123,055	100,476
貸倒引当金	△1,897	△648
流動資産合計	3,376,090	3,227,736
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	770,790	770,790
減価償却累計額	△681,317	△683,200
建物及び構築物(純額)	89,472	87,589
機械装置及び運搬具	30,298	30,467
減価償却累計額	△27,659	△26,114
機械装置及び運搬具(純額)	2,638	4,352
土地	438,325	438,325
リース資産	6,201	6,201
減価償却累計額	△3,119	△3,429
リース資産(純額)	3,082	2,772
その他	169,607	169,877
減価償却累計額	△158,826	△160,058
その他(純額)	10,780	9,819
有形固定資産合計	544,300	542,859
無形固定資産	66,398	62,540
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	48,913	51,195
差入保証金	349,324	354,471
繰延税金資産	13,393	14,001
その他	131,295	136,006
貸倒引当金	△12,570	△12,572
投資その他の資産合計	530,356	543,103
固定資産合計	1,141,054	1,148,503
資産合計	4,517,144	4,376,239

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,123	814,803
1年内償還予定の社債	67,000	67,000
1年内返済予定の長期借入金	273,324	279,872
リース債務	811	674
未払法人税等	24,954	13,133
賞与引当金	32,532	9,056
その他	82,669	167,796
流動負債合計	1,395,414	1,352,334
固定負債		
社債	51,000	26,250
長期借入金	429,751	356,822
リース債務	2,459	2,288
役員退職慰労引当金	56,830	59,528
退職給付に係る負債	287,268	283,615
その他	12,839	12,139
固定負債合計	840,148	740,644
負債合計	2,235,562	2,092,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	333,262	332,658
自己株式	△47,442	△47,442
株主資本合計	2,285,124	2,284,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,542	△1,259
その他の包括利益累計額合計	△3,542	△1,259
純資産合計	2,281,582	2,283,260
負債純資産合計	4,517,144	4,376,239

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,275,026	2,104,519
売上原価	1,646,521	1,539,056
売上総利益	628,505	565,463
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	271,899	249,124
賞与引当金繰入額	9,049	9,056
役員退職慰労引当金繰入額	2,698	2,698
その他	293,381	286,856
販売費及び一般管理費合計	577,028	547,735
営業利益	51,476	17,727
営業外収益		
受取利息	616	657
仕入割引	12,041	10,479
その他	4,184	3,399
営業外収益合計	16,842	14,536
営業外費用		
支払利息	2,011	1,707
手形売却損	579	363
その他	392	224
営業外費用合計	2,983	2,295
経常利益	65,335	29,968
特別損失		
固定資産除却損	—	106
特別損失合計	—	106
税金等調整前四半期純利益	65,335	29,862
法人税、住民税及び事業税	8,153	10,708
法人税等調整額	738	5,558
法人税等合計	8,891	16,267
少数株主損益調整前四半期純利益	56,444	13,595
四半期純利益	56,444	13,595



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,444	13,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,218	2,282
その他の包括利益合計	△3,218	2,282
四半期包括利益	53,225	15,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,225	15,878
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,232,141	42,885	2,275,026	—	2,275,026
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	141	17,548	17,689	(17,689)	—
計	2,232,282	60,433	2,292,716	(17,689)	2,275,026
セグメント利益又は損失 (△)	52,998	△4,366	48,631	2,845	51,476

(注) 1. セグメント利益の調整額 2,845千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分には、「自動車販売及び整備」「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	2,082,923	21,596	2,104,519	—	2,104,519
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	615	30,109	30,724	(30,724)	—
計	2,083,538	51,706	2,135,244	(30,724)	2,104,519
セグメント利益又は損失 (△)	17,005	△2,061	14,944	2,783	17,727

(注) 1. セグメント利益の調整額 2,783千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分には、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。